

平成26年度公共事業再評価諮問地区「継続」理由書等

(課名：港 湾 課)

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>防災安全交付金 高潮対策事業 (呼子港海岸)</p>
<p>継続理由</p>	<p>呼子港海岸は、県北西部の東松浦半島に位置する海岸であり、海岸背後は急傾斜地で幅40～50mの狭い範囲に旅館や造船所および住宅が密集している状況である。 現状の護岸は空石積で、竣功年度も不明で老朽化が著しく、一部崩壊箇所も見られる。 このような状況であるため、既設護岸を補強することによって高潮や侵食被害から県土を保全出来ることから、事業を引き続き実施する必要がある。</p>
<p>B / C の 算出方法</p>	<p>呼子港海岸は、既設護岸の老朽化が著しく一部崩壊も発生している。このため、既設護岸を補強することにより、高潮から背後地が保護され、建物や施設の被害が軽減される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 便益(B) 浸水被害額(一般資産、公共資産): 44.67 億円 侵食被害額(土地): 0.23 億円 供用開始後50年の便益を算出 合計 44.90 億円 ・ 費用(C) 事業費: 26.51 億円 維持管理費: 2.09 億円 合計 28.60 億円 ・ $B/C = 44.90 / 28.60 = 1.5$
<p>備 考</p>	

平成26年度再評価対象事業
(対象：平成21年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)
10	再評価 時点	海岸保全(高潮) 事業 (呼子港海岸) 事業主体：県 事業地：唐津市 呼子町	呼子港海岸(殿ノ浦地区) は、海岸背後に人家・旅 館・町道が控え、現況の護 岸は、空石積で吸出しや一 部崩壊も見られるなど、老 朽化が著しい。 このため、海岸保全事業に て既設護岸の補強を行う ことにより、高潮や侵食被 害から護岸背後地を保護 し、県民安全度の向上を図 る。	総事業費：31.2億円 工期：H11～H30 護岸(補強) L=873m	H20年度末事業費： 7.8億円 H20年度末進捗率：25%	事業を巡る情勢の大きな変化 は見られない。	事業採択時と比較して大きな要 因の変化は見ら れない。 B/C=1.4	<コスト削減> 建設発生土の有効 利用(護岸背後の 埋土)によりコス ト削減を図る。 <代替案の検討> 特になし	10年以上経過	継続
	現時点	防災安全交付金 海岸高潮事業 (呼子港海岸) 事業主体：県 事業地：唐津市 呼子町	呼子港海岸(殿ノ浦地区) は、海岸背後に人家・旅 館・町道が控え、現況の護 岸は、空石積で吸出しや一 部崩壊も見られるなど、老 朽化が著しい。 このため、海岸保全事業に て既設護岸の補強を行う ことにより、高潮や侵食被 害から護岸背後地を保護 し、県民安全度の向上を図 る。	総事業費：22億円 工期：H11～H29 護岸(補強) L=873m	H25年度末事業費： 16.2億円 H25年度末進捗率：74%	東日本大震災後、防災安全に対 する関心が高くなった。	工法の見直しに より、総事業費を 削減 B/C=1.5	<コスト削減> 軽量盛土材を使用 することで工法 の見直しを行い、総 事業費の削減を図 った。 <代替案の検討> 特になし	再評価後5年以上 経過	継続
	理由等			総事業費の削減により、 完了時期を短縮 (H30→H29)				新材料である軽量 盛土材を使用す ることで、地盤改良 が不要となる工法 が採択可能とな り、大幅なコスト 削減が図ることが 出来た。		